

令和6年 3月8日

足立区立東加平小学校
校長 田中 岳晴様

足立区立東加平小学校
開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価

1 自己評価全般について

【学力向上】

- 区学力調査の結果は、国語の目標値通過率93.4%、算数目標通過率91.0%、2教科の平均通過率92.2%であった。目標の85%を今年度も超えることができた。前年までのコロナ禍の影響が残る中で、目標値を上回ったことは評価できる。今後も、基礎基本の定着を図り、つまづきを補うための取り組み（授業改善、パワーアップ、寺子屋タイム等）を継続し、児童の学力向上を目指してほしい。児童が自主的に学習する意欲を喚起し、自信を持って上級学年に進めるように指導を続けてほしい。

【豊かな心】

- 「自分が好き」（87.6%）「自分にはよいところがある」（92.4%）と高い数値を得ている。普段の学校生活において、児童のよさを見取り、自己肯定感を高める指導がなされている結果と考えられる。児童全員が、学校が楽しいところ、自分のよさはこれと言えるように、指導が続けられることを願っている。また、いじめや不登校、SNSなどの課題に対しても家庭との協力、連携体制をとって問題の解決にあたってほしい。地域としても、協力できるところは積極的に力を貸していきたいと思っている。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- コロナの影響を受けずに、運動会をはじめ、社会科見学、宿泊を伴う校外学習、音楽会など体験的な学びができたことは、次年度以降につながる新たな第一歩としてとらえることができる。ICT機器を使った授業の取り組みも校内研究として、タブレット端末の新たな活用方法を広げているとのことであった。まだ、発展の余地のあるところなので、さらに研究を深めながら「児童がわかる授業の展開」、「自主的に学習をすすめていく意欲」等を喚起させてほしい。
こうした、ICT機器に慣れている若い教員と経験値の高いベテラン教員がひとつになって、児童に寄り添い、一緒になって活動していく先生方の姿は印象に残っている。
- 児童が安心して安全に登下校をしたり、遊んだりできる環境を守っていきたい。先生方の頑張りに感謝すると共に保護者や地域が協力をして、児童をサポートしていく。